

住友建機		令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会			
適用範囲		モデル名		SH220HB-7	
		仕様		標準仕様	
		適用号機		220H7-1101～	
区分	検査箇所	検査項目（条件）		単位	検査基準値
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度		min^{-1}	1730±10
		ハイアイドルリング		min^{-1}	900±10
		ローアイドルリング （冷却水温）		(℃)	(70～85)
		（作動油温）		(℃)	(45～55)
	弁すき間 吸気弁 隙間 排気弁 隙間 （測定条件）			mm	—
				mm	—
		圧縮圧力又は気筒 間圧縮圧力差 （冷却水温） （回転速度）		MPa kgf/cm2 (℃) (rpm)	—
燃料装置	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射 開始圧力		MPa kgf/cm2	コモンレール
	冷却装置	ファン駆動ベルトの張り [測定位置・条件] （中間を指で押す力） kgとNの両方で表記		mm N・m kgf	6.0～8.0 ファン～オルタネータブリー間 98 10
走行装置	走行性能	最高速度		秒	3.3～4.3
		[測定方法・条件]			(6m走行)
	履帯 (クローラベルト)	ゴムベルト	張り(たわみ量)	mm	—
			[測定方法・条件 (図面番号表示)]		
		鉄シュー	張り(たわみ量)	mm	300～330
			[測定方法・条件 (図面番号表示)]		
リンクピッチの伸び	リンクピッチの伸び			mm	190
					(1リンク)
	履板取付けボルト 締付けトルク			N・m kg・m	250～350 25.5～35.7

住友建機		令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会			
適用範囲		モデル名		SH220HB-7	
		仕様		標準仕様	
		適用号機		220H7-1101～	
区分	検査箇所	検査項目（条件）		単位	検査基準値
作業装置	作業機自然降下	バケット先端位置 (測定時間) (作動油温) 作業装置姿勢 (図面番号表示) 荷 重		mm (分) (℃) kg・N	250 (10) (45～55) [図3参照]
		シリンダ自然伸縮		mm	0～5
		アームシリンダ		mm	0～12
		バケットシリンダ		mm	0～13
	ブレードシリンダ			mm	—
		(作動油温)		(℃)	(45～55)
作業機速度	ブーム上げ			sec	2.6～3.8
		アームシリンダ伸ばし 縮め		sec sec	2.5～3.7 2.0～3.2
		バケットシリンダ伸ばし 縮め		sec sec	2.9～4.1 1.6～2.8
		性能測定条件 (荷重・設定モード等)			(空荷/SPモード)
	油圧装置	油圧回路設定圧力		MPa kgf/cm2 (℃)	32.3～36.3 (50±5) (SPモード)
		性能測定条件 (設定モード等)		・油温 ・エンジン	
動力伝達装置	旋回ベアリング取付けボルトの締付け	アウトレース取付けボルトの締付けトルク		N・m kgf・m	468～545 47.8～55.6
		インナレース取付けボルトの締付けトルク		N・m kgf・m	518～590 52.9～60.2
	旋回減速機取付けボルトの締付け	油圧モータ取付けボルトの締付けトルク		N・m kgf・m	— —
		旋回減速機取付けボルトの締付けトルク		N・m kgf・m	539.4～629.6 55.0～64.2
	備考				

★印：新車基準値を表す。

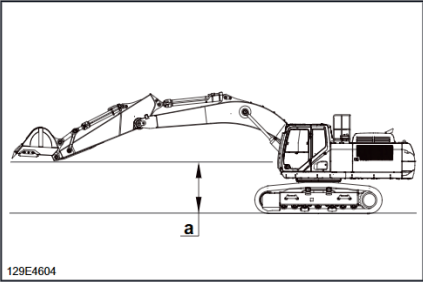
住友建機

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		SH220HB-7
		仕様		クレーン仕様
		適用号機		220H7-1101～
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値
動力伝達装置	クレーン時の旋回速度	1回転の所要時間	秒	5.8～7.0

住友建機

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

項目	測定方法
作業機自然降下 SH220HB-7	シリンダ降下量 測定法 [1]油温 45 ° C - 55 ° C 測定前に各シリンダに油を回す。(測定前と測定後の油温を記入) [2]ブームフットピンとバケットピンの高さを同一とする。 アームシリンダは縮みエンド、バケットシリンダは開きエンド [3]エンジンは停止 [4]ブーム、アーム、バケットシリンダのロッドの伸び量または、縮み量を 10 分後に測定する。 [5]爪先の変位を 10 分後に各シリンダ移動量と一緒に測定する。 本体姿勢  a 同一高さ